

# 守山市立物部幼稚園

日時：2014年11月7日（金）13:30-17:00

2014年11月19日（水）9:00-16:00

場所：守山市二町町253

住宅地と田んぼに囲まれ、小さな河川に囲まれた物部幼稚園。今回は徒歩で行ける栗東市の大宝神社の森を活用して、プログラムを実施しました。

（対象：5歳児 計66名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

## 木を囲んでみよう！

なんとなく眺めている神社の木。どんな大きさなのか、囲んでみよう！

- 大木なら、何人で囲めるか、手をつないでみよう。
- 手をつないだ場所を覚えておいて、そのまままっすぐ展開しよう。それが木の周囲の長さです。
- 今後はグループで、何本の木を囲めるか、チャレンジ！人数プラス2本を目指してみよう！



大きなスタジイの木。保育者3人でやっと囲めました。



木は頭よりも高いものをルールとして、7人プラス2で9本の木を囲めました。出来た時は、みんなで拍手！！

## 森でチャレンジ！！やってみよう

先生から3つのチャレンジをするよ！とお話された子どもたち。やる気満々です。まずは、どんぐりをペットボトルの蓋に入れて順番に回していくどんぐりリレーの「みんなで運ぼう」。森の中で、放り投げた葉っぱを捕える「葉っぱをキャッチしよう」、最後はグループで協力して枝を集めて組んでいく「高く積もう」の3つの遊びを行いました。おもちゃもない森だけど、自然でこんなに遊べるんだ、楽しめるんだということをたくさん体験しました。



まずは、どんぐりを集めよう！みんなで集めると、あっという間に入れ物いっぱいになったよ。

お家の人と一緒に、どんぐり運びリレー。ペットボトルの蓋に入れて次の人に渡していくよ。

お気に入りの葉っぱをお空へ投げて、上手にキャッチできるかな？

森の枝を使って、高く積んでみよう。重ねたり、立てたり、ドンドン高くなるよ。



## 森のキャンバスで遊ぼう

ドングリ、葉っぱ、枝を拾って、保育者と同じものを出せたら嬉しい、ラブラブじゃんけん、いろんな自然物があることに気づいた子どもたち。たくさん自然の材料を拾って、ヘビやムカデ、木、鳥、トンボ、クモなどをグループで作って、当てあいっこをしました。

ラブラブじゃんけん、先生と一緒にやった！うれしーい



ドングリや枝、葉っぱをいろいろ拾おう！



ムカデをつくったよ。  
たくさんの足を葉っぱや枝で上手にできたよ。



中学生のお姉さんも一緒になって、ヘビを作ったよ。みんなにわかるかな？

### プログラムを終えてのふりかえりから

- ・体験をした子どもたちを担当しているが、普段と違った所から子どもを見ることができた。普段は全体は見るのが多く、今回 1 人 1 人の表情をじっくり見ることができた。子どもの心が動く瞬間を見ることができた。
- ・子どもたちが体験から帰ってきてすぐに「楽しかった！」との声が聞かれた。
- ・安全面でどのように配慮し言葉がけしていくか学ぶことができた。
- ・普段の保育では、散歩に行くことが目的になってしまい、自然とどのように触れ合うかを考えることを忘れていた。簡単なことから目的を持って遊べ、保育に取り入れることができる機会となった。
- ・土に座ることを嫌がっていた子どもが、言葉がけを変えると子どもが気にせず座っていた。保育者の言葉の大事さを感じた。
- ・自然ってこんなに遊べるんやなぁと思った。子どもに知らせて、興味を持ってもらい、大事にする気持ちになって欲しい。
- ・森に行くと刺激が多い。子どもなりにその刺激を捉えている。保育の現場として、森はとても良い場面と思う。また、自然保全の環境学習だけでなく、情操教育としても効果が高いと思う。
- ・今回のプログラムの保育の要素としては、身体機能を使うことが多く含まれていた。自然体験は環境学習だけでなく、普段から行っている保育にうまく合致できることを知り、保育を進めたい。